

秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会（第6回）

○日時

令和8年2月25日（水）15時00分～16時30分

○場所

ANAクラウンプラザホテル秋田 4階 シリウス
（WEB会議を併用）

○参加者（※WEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省資源エネルギー庁 新エネルギー課風力政策室 室長	古川 雄一
国土交通省港湾局海洋・環境課 海洋利用調査センター 所長	佐渡 英樹
農林水産省水産庁資源管理部 管理調整課 計画官	馬場 俊介※
秋田県産業労働部 クリーンエネルギー政策統括監	三浦 均
男鹿市 市長	菅原 広二
潟上市 市長	鈴木 雄大
秋田市 市長	沼谷 純
秋田県漁業協同組合 代表理事組合長	杉本 貢
秋田県漁業協同組合 理事・船川地区運営委員長	菅原 一
秋田県漁業協同組合 副組合長・天王地区運営委員長	伊藤 貴洋
秋田県漁業協同組合 船越地区運営委員長	仲村 正行（欠席）
秋田県漁業協同組合 脇本地区運営委員長	山田 潤一
秋田職業能力開発短期大学校 校長	中村 雅英
秋田県立大学システム科学技術学部 教授	杉本 尚哉（欠席）
秋田大学理工学部 システムデザイン工学科 教授	浜岡 秀勝（欠席）
東京大学教養学部 附属教養教育高度化機構 客員准教授	松本 真由美※

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社
代表職務執行者 由井原 篤
男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社
プロジェクトディレクター 佐々木 太建

(オブザーバー)

環境省大臣官房
地域政策課洋上風力環境調査室 室長補佐 野玉 悠葵※
国土交通省気象庁大気海洋部
観測整備計画課 調査官 酒匂 啓司※
公益財団法人海洋生物環境研究所中央研究所
海洋生物グループ 主幹研究員 島 隆夫

○議題

(1) 本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より資料3（秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 座長より、協議会の公開の方法について、議論の透明性の観点から本協議会を含む、今後の協議会について録画配信を行うことを提案、承認された。

(2) 事業の進捗状況について

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 資料4（秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖洋上風力発電事業概要説明）を説明。

男鹿市

- 船川港においてO&M拠点の工事も開始されるなど、市民をはじめとし、地域として事業を歓迎している。当市としても地域住民への説明など、事業者と共に進めていきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 地域と事業者が長期に渡り付合っていけるよう、進めていただきたい。

潟上市

- 事業者においては、当市内の道の駅に事業所を設置いただき、また、共生事業等の取組みも進めていただいている。このような取組みを通じて、市民の理解を得ながら、事業を進めていただきたい。

秋田市

- 事業者においては、厳しい事業環境の中、2028年6月の運転開始を目指し進めていただいております。感謝申し上げます。
- 地元の事業者が事業参入していることを、資料として見える化していただいたことで、地域経済にプラスの影響が出ていることを、リアリティーを持って、市民に対しても説明できるため、大変ありがたい。
- 地域振興について、基金配分比率も決まり、男鹿市様、潟上市様、当市で、様々な形で連携をしながら、取組みを進めていく。特に当市は、大学など高等教育機関が多く、そのようなところにおける人材育成、また、小中学校も含め若いうちから、洋上風力が秋田にとって如何に重要であるか教育していくことで、地域のブランディング、シビックプライドにも繋がるような取組みを進めていく。
- 当市においても、市民に対して様々な形で説明、周知発信を行っていくなど、事業者と共に進めていきたい。

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 地域の皆様の気持ちに応えるべく、2028年6月の運転開始を目指し、しっかりと進めていく。長期に渡る事業であるため、運転開始後も、地域の皆様に信頼いただける事業者となれるよう、しっかりと取り組んでいく。

秋田県漁業協同組合（代表理事組合長）

- 今後とも、丁寧に説明いただきながら進めていただきたい。
- CTVの運航について、風車間において漁業操業を行うこととなるため、CTVの運航についても、関係者に対して丁寧に説明いただきたい。

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 承知した。

秋田県漁業協同組合（理事・船川地区運営委員長）

- 船舶の航行安全について、資料に示されている対応をしっかりと行っていただきたい。
- 小型船はレーダーが付いていないため、霧や吹雪などの際には視界がきかず風車への衝突が生じる可能性がある。これらに対する安全対策についても、しっかりと行っていただきたい。

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 船舶の航行安全については漁業者の皆様などと協議させていただきながら検討していく。
- 航行安全を確保するための予算を基金外で設けており、それらも活用しながら、しっかりと航行安全を確保していく。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 安全確保は何よりも優先され、事故が発生すると、事業者の信頼が大きく失われることになるため、注意いただきたい。

秋田県漁業協同組合（副組合長・天王地区運営委員長）

- 風車建設に伴い、漁業に大きな影響が生じるものと考えている。今まで以上に安心して漁業活動が行えるよう、協議会の皆様と考えていきたい。

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 承知した、関係者の皆様としっかりと協議させていただく。

秋田県漁業協同組合（脇本地区運営委員長）

- 工事が本格的に始まると、当地区の漁場を船が通航することとなり、漁業との調整も必要となる。今まで以上に密に連絡調整いただきたい。

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 承知した、現場に多くの人員を配置する予定であり、今まで以上に、しっかりとコミュニケーションをとらせていただく。

東京大学

- 事業者においては、地元の声を上手に取込みながら漁業共生策を進め、地域振興策と漁業共生策を実現できるよう、今後もしっかり努め

ていただきたい。

秋田大学（*欠席につき国土交通省（事務局）が代読）

- 資料（13頁）に地域振興や漁業振興への基金の活用について、公平性、公正性、透明性確保のために年1回の法定協議会で実績報告をされると記載がある。これは、非常に重要なことだと思う。できれば、金額だけではなく、どのような内容の取組を行ったのかなど、しっかりと報告が出来るように、あらかじめ具体的に報告項目を決めておいても良いのではないかと感じた。

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社

- 承知した、ご指摘の通り対応する。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- ご指摘の意見は、基金の公平性、公正性、透明性確保のために非常に重要なことである。
- 事業者においては、本日の意見を踏まえ、引続き事業完遂に向け、取組んでいただきたい

（3）洋上風力事業を完遂させるための事業環境整備及び新たな公募制度等について

経済産業省（事務局）

- 資料5（洋上風力事業を完遂させるための事業環境整備及び新たな公募制度等について）を説明。

秋田県（事務局）

- 第2ラウンドを含めた既存事業の環境整備が実現すると、事業完遂の確度が高まり、構成員にとっても、漁業共生策、地域共生策の着実な実現に繋がり、また、本事業に参画している多くの県内企業にとっても、安心して事業が行える環境が整うものと考えている。環境整備が早期に実現されるよう、引続き検討を進めていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 事業環境整備策については、現在、詳細を詰めているところであり、地元にとって良い方向に進むよう、引続き検討、調整を続けていく。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 地元、事業者共に事業の完遂を望んでいるが、採算が確保できなければ事業は完遂できない。洋上風力は長い目で見ると必ず必要なことであり、国が特に初期の案件形成を着実に進めることを重視していることは非常にありがたいことである。長期脱炭素電源オークションなどを活用すれば、事業者としても長期の見通しが立ち、安心して事業に取り組め、地元関係者の安心にも繋がることとなる。このような制度があることを理解いただき進めていただきたい。

（４）閉会

経済産業省（事務局）

- 今後の進め方について、本協議会については、事業の進捗等を確認するため、毎年度１回は開催することとしており、来年度も適宜開催させていただく。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 事務局及び事業者においては、本日の議論を踏まえて次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上